

## はじめに

鋼道路橋の鉄筋コンクリート床版は、車両荷重を直接支持する重要な部材であり、車両荷重の増大に対する対応や、過去の損傷事例への対策として、床版の設計基準は都度見直しされてきています。また、材料の高強度化と施工技術の向上もあって、高品質の床版が提供されるようになってきており、現在では、鉄筋コンクリート床版の耐用年数は100年を超えると考えられています。一方で、床版の耐久性がそれほど重要視されていなかった頃の基準で施工された鉄筋コンクリート床版は、鋼板接着補強や縦桁の増設あるいは床版厚の増厚等の補強によって現行の基準に適合するよう対策がとられてきていますが、塩害や凍害、ASR等の材料劣化の要因と車両荷重及び交通量の増大によって複合的に劣化が促進される場合があります、部分的な補修では必要な耐荷力を回復できず、床版全体を取替えざるを得ない橋梁が増加しているのが現状です。このような環境にあつて高速道路会社各社では、損傷が進んだ橋梁の中期的な更新・修繕計画が立案され、工事が実施されています。また、国土交通省や地方自治体においても、床版取替えの需要が高まっています。鉄筋コンクリート床版についても、多くの路線で更新計画が立案され、床版取替え工事が順次実施されています。

鉄筋コンクリート床版の取替え工事は、架橋地点の環境や高速道路の交通状況、高速道路へアクセスする地域道路の状況によって、さまざまな制約条件があり、個別橋梁ごとに施工計画が入念に立案され、施工されることが必要となっています。(一社)日本橋梁建設協会では、会員各社が鉄筋コンクリート床版の取替え施工を行う際に利用できる技術資料を整備してきました。その成果をこのたび新たに発刊する「床版取替え施工の手引き」として取りまとめました。

鉄筋コンクリート床版の更新で重要な目的のひとつは、床版を更新することで劣化の原因が取り除かれるか、または、車両荷重や材料の劣化要因に対する抵抗性が向上することで床版の高耐久化を図ることがあげられます。床版の更新工事に関する技術は、施工量の増大にともなう今後ますます発展するものと考えています。鋼道路橋の安全性が向上し、利用者にとって快適な道路が提供されることの一助となるように、(一社)日本橋梁建設協会では、会員各社の施工品質の向上に資する最新技術を取り入れた技術資料の整備を続けていきます。

以上の背景と主旨をご理解いただき、本手引きをご活用いただけますようお願い申し上げます。

なお、本手引きの適用の是非については、利用者の責任により判断していただきたくお願い申し上げます。

平成30年9月  
(一社)日本橋梁建設協会  
技術委員会 床版小委員会